

18. 卒業生・修了生への支援活動

1) 再就職や進学・就職・国家試験への支援

卒業生に対しては、看護研究指導教員を中心に、メールや直接面談による相談を受けて、キャリアアップ支援を継続している。例年行われてきた高知女子大学看護学会や高知県立大学看護学部同窓会は卒業生が母校に帰校するよい機会であったが、今年度もコロナ禍で中止となった。しかし、3回生対象の「先輩から話を聞く会」や「3回生就職ガイダンス」で、講師として招いた県内に勤務する卒業生（看護師・保健師・養護教諭・大学院生）が、この機会に看護研究指導教員のもとを訪れ、キャリアアップに関して相談するなどしていた。また、各専門領域の教員は、卒業後5年前後の人を対象に、大学院進学への相談を実施したり、大学で実施している教育研究活動・地域貢献活動・ケア検討会への参加を促したりして、卒業生のキャリアアップ支援を継続している。なお、今年度は国家試験受験対象となる卒業生はいなかった。

2) 高知県内の卒業生に対するキャリア支援

新卒業生のキャリア支援に関しては、2021年3月卒業の新たな登録者は、県内就職者を中心に72名であった。キャリア・進学相談を9月半ばから告知し、SNS、電話で相談を受け付けた。大学院等キャリア支援相談に関しては、延べ8件の相談があった。また、本年度の特徴として、首都圏に就職していた卒業生が、地元に戻ることに伴う相談を新たに受けた。この傾向は、一昨年から続いている。延べ、15件の相談があり、必要時は関係する教員と連携するようにした。

近年の傾向として、大学院進学等の将来のキャリア支援に関するニーズが高まる状況が続いている。また、登録者を増やすためにも卒業式前後に集中して活動の告知と募集を行って行くよう計画している。

3) CNS 認定等の支援

看護学研究科博士前期課程では、平成12年3月に1期生が修了して以来、専門看護師の認定試験に向けて支援を行っている。大学院修了前に主指導教員は、大学院生の背景や個別性を尊重し、修了後の資格認定までの計画を学生とともに立案している。修了後は、その計画に沿って定期的に事例検討会や勉強会の開催、コンサルテーション、大学院の特別講義の連絡や講師依頼、共同研究、先輩CNSの紹介などを行い、CNS認定及び認定更新への支援をしている。

令和2年度までに専門看護師コースを修了し、認定試験に合格した専門看護師は、9領域133名であり、研究コース、実践リーダーコースにおいては修了後、26名が認定看護管理者の資格を得て、活躍している。令和3年度は、がん看護CNS5名、慢性疾患看護CNS1名、急性・重症患者看護CNS4名、小児看護CNS1名、家族支援CNS1名、老人看護CNS1名計13名の修了生がCNS認定試験に合格し高度実践看護師として活動している(表1)。

表1 修了生の専門看護師・認定看護管理者認定数

領域	がん看護	慢性疾患看護	急性・重症患者看護	小児看護	精神看護	家族看護	地域看護	在宅看護	老人看護	看護管理	合計
令和3年度	5	1	4	1		1			1		13
総計	45	4	8	24	20	17	2	10	3	26	CNS:133名 認定看護管理者:26名

4) 看護学部同窓会活動

2021年度、看護学部同窓会役員一覧は、表2の通りである。

表2 2021年度同窓会役員

役員名	氏名	卒業・修了期	所属
会長	中山洋子	16期生	文教学院大学大学院特任教授
副会長	藤田佐和※1	28期生	高知県立大学看護学部長
	中野綾美	27期生	高知県立大学看護学部
書記	田鍋雅子	38期生・修士13期生・博士18期生	高知医療センター看護局
	山中福子	修士7期生	高知県立大学看護学部
会計	川上理子	35期生・博士9期生	高知県立大学看護学部
	西内舞里	46期生・修士12期	高知県立大学看護学部
会計監査	野田真由美	34期生	高知市保健所
	矢野智恵	38期生・修士1期生・博士17期生	高知学園短期大学
庶務	角谷広子	25期生,修士5期生	芸西病院看護部
	池添志乃	34期生,修士2期生,・博士1期生	高知県立大学看護学部
	川本美香※2	修士13期生・博士18期生	高知県立大学看護学部

但し、※1：看護学部長、※2：看護学会役員は当て職である

(1) 2021年度の活動

- ①第11回同窓会総会の開催
- ②役員会の開催
- ③講演会（高知女子大学看護学会との共催）
- ④会報（第23・第24号）の発行
- ⑤高知女子大学看護学会への支援
- ⑥学生及び同窓生活動への支援
- ⑦給付型特別奨学金
- ⑧緊急奨学金貸与

(2) 活動の実際

- ① 第11回同窓会総会の開催

COVID-19感染拡大防止と会員皆様の健康と安全面への配慮から、令和3年度の同窓会総会の対面での開催を中止し、文書（議決権）送付による総会とし、議案賛否のお返事をいただく形とした。議事として、(1)令和2年度活動報告、(2)令和2年度決算報告、(3)令和2年度会計監査報告があった。また、審議事項として、(1)令和3年度活動計画案、(2)令和3年度予算案、

(3)令和3年度同窓会役員について審議し、承認された。

② 役員会の開催

役員会は、7回開催した。第1回役員会は7月にオンライン開催し、本年度の活動、会報、総会および懇親会の企画、給付型特別奨学金等について審議し、役割別年間スケジュールが確認された。第2回役員会は、同窓会総会の企画、会報23号、同窓生への活動支援について審議された。第3回役員会は9月13日、第4回、第5回役員会は10月11日、11月8日、にオンラインで行い、給付型特別奨学金申請に関して審議された。第6回役員会は12月14日にオンラインで開催され、同窓生への活動支援の申請、WEBサイトメンテナンスについて審議された。第7回役員会は2022年1月6日にオンラインで開催され、同窓会報第24号、2022年度活動案、同窓生への活動支援等について審議された。

講演会の開催（高知女子大学看護学会との共催）

講演会は、7月17日高知女子大学看護学会との共催でWeb開催された。今回のメインテーマは「人生百年時代の看護のSHIFT（シフト）」であり、学会員と一般参加者合わせて191名の参加があった。

テーマ：「人の心とAI」

講師：熊田孝恒先生

（京都大学大学院 情報学研究科知能情報学専攻 心理情報学分野教授）

③ 会報の発行：2021年度は、第23号と第24号の2回の会報を発刊した。

a. 第23号の発行

第23号は、第11回総会の報告に合わせて令和3年10月25日に発行した。本号では、令和3年度同窓会総会報告、同窓会役員紹介、令和元年度活動・会計報告・令和3年度予算案、第47回高知女子大学看護学会報告、8月21日に開催された看護開発研究会報告、看護学部は今等を掲載した。

b. 第24号の発行

会報第24号は2022年3月に発行した。本号では、活躍されている卒業生・修了生による報告、メッセージ、活動支援を行った第3回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会報告等で構成した。

④ 高知女子大学看護学会との共催

平成25年度より、高知女子大学看護学会へ毎年資金支援を行っており、令和3年度は、30万円の支援であった。同窓会発足当時より、高知女子大学看護学会との共催で講演会を開催しており、今後も、両者の連携を図りながら、学術の進化、ネットワークの拡大に努めていく方針である。

⑤ 学生及び同窓生活動への支援

卒業生、修了生が学会長として開催した第3回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会への支援を行った。

⑦ 給付型特別奨学金

看護学部生2名、大学院生1名の申請があり、役員会での審議のうえ3名の学生へ給付支援を行った。

⑧ 緊急奨学金貸与

2021年度の緊急奨学金貸与の申請はなかった。